



「古屋まさお」とともに歩む

友雅会 ニュース

発行元：友雅会

〒405-0007

山梨県山梨市七日市場816-7

TEL 0553-23-6688

FAX 0553-22-3700

■編集責任者：古屋 雅夫
文化協会活動・川柳句会★期待する「安」の
一文字世の風よ（まさお）

3月
定例
議会
報告

合併後はじめての大型予算 189億6000万円が可決

山梨市駅南北通路・駅南整備や公共施設の改修、市立産科医の建設などの推進



山梨市議会議員 古屋まさお

H28年度予算、ハード事業を重視

平成28年度一般会計予算189億6000万円
＝前年比6億200万円・3.28%増の過去最高となる＝
歳入の概要は、市税収入全般では38億2,726万円（前年比0.32%増）、他は交付税54億5千万円および、国、県からの支出36億2千4百万円と市債は28億6千5百万円、と有利な合併特例債18億9600万円の活用と基金分17億5700万円等を充てた依存度の高い財政運営となっています。

■＝主なインフラ等事業費＝

①山梨市駅南北通路・駅南地域整備総事業費約60億円、今年度分12億2469万円余、②落合正徳寺線（H22～H31）2億5300万円余、③野背坂線（H28年度開通）4700万円余、④小原東後屋敷線（H27～H31）3500万円。

＝H28年度・畑地帯総合整備事業費＝

・日下部地区3億9500万円（H27年度繰越し分を含む）
・万力地区 3億4500万円（H27年度繰越し分を含む）
・岩手地区 3億300万円（H27年度繰越し分を含む）
・上栗原地区1億9000万円（H27年度繰越し分を含む）

さる3月1日から3月24日まで開かれた平成28年3月定例会は、専決処分関係2件、「ふるさと納税寄付金」に関わる基金条例、「市立保育園の設置及び指定管理」に関する一部条例改正等条例関係が17件、予算関係22件、他9件の計50件に加え、最終日に追加提案として「新・副市長 飯島尚敏氏（前・人事秘書課長）」並びに「新・教育長 市川今朝則氏」、「新・教育委員 林正文氏（牧丘町西保中）、三森智文氏（下栗原）」等の人事案件8件等が提案され、審査の結果、予算及び条例関係は賛成多数で可決。人事案件は全会一致で同意した。

「古屋まさお」市議は一般質問に立ち、①牧丘病院の医療体制の充実等について、②南反保（日下部地区・都市計画エリア33ha）開発の積極的な推進について、③公共施設の計画的整備及び管理の一元化等について、④「商工労政課」（企業誘致担当課）を新設と役割等について質した。（2面掲載）

☆牧丘庁舎改修整備事業を視察（1面掲載写真）

※記載内容は古屋まさお市議のメモであることから、適切な表現でない部分等についてはご容赦願います。

■＝公共施設の建設、改修事業費50億円余＝

現在着手、整備中の施設並びに、

今後整備する公共施設の総事業費見込み額

①総合市民会館整備、市立図書館整備事業13億9,900万円（H28.11完成予定）、②市立産婦人科医建設事業10億5,700万円（4月仮契約予定）、③牧丘庁舎改修整備事業2億7,800万円（H28.9完成予定）、④笛川小校舎整備及び講堂解体、児童センター建設事業3億2,300万円（H28年度事業）、⑤市民体育館アリーナ大規模改修事業2億1,300万円、⑥学校給食センター建設事業約17億2,700万円（H30年度完成予定）、⑦環境センター中継基地建設事業890万円（H28年度）、⑧牧丘町総合会館解体事業（H29年度）等が実施・計画されています。

（市の調査資料による）

■子育て支援・保育料等引き下げ実施！

- (1) 保育料は所得に応じた各断層区分とも1000円～4000円の引き下げ
 (2) 学童保育利用料①平日利用(8月を除く) 5000円を⇒3000円に、②土日利用者(8月を除く) 6000円を⇒4000円に、③8月利用者1万円を8000円に改正する(H28年4月から)

〈財政状況・主要点〉

■経常収支比率：県平均85.9% 山梨市86.5% (H26年度)

■H28年度の「普通建設事業費」：22.5%

※H25年度決算16.6%

■平成28年度の一般会計及び5つの特別会計の地方債残高合計は、355億8800万円、

市民一人当たりの借金は約98万3千円＝

☆事業に対する効果や補助金の活用、市債等の状況を含め、財政全般に対し注視して行く必要があります。



3月定例議会一般質問

地域課題の取り組み姿勢を質す

「ジビエ」地域資源の活用で 〈地域おこし〉を目指す！

市でも鳥獣害被害は大きな問題として、猟友会や地域のご協力を得ながら実施してきていますが、思うような対策効果までには至っていないのが現実です。

この3月議会で、「ジビエ」(狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉を意味するフランス語)をブランドとしている自治体「信州ジビエ」信州産鹿肉認証制度確立した「例」を出して、山梨市における狩猟した「鹿」等の加工所の対策について「市民の会」代表が質した。

山梨県ではジビエの衛生管理のガイドラインはあるものの、食肉処理ができる施設は丹波山村、富士河口湖町、早川町の3ヶ所にしかありません。市独自の施設建設は、「法的にクリアする課題等があることから研究課題」としたいとの見解です。

私が所属し活動している「NPO法人・都市農村交流支援センター」では地域資源を活用した社会教育事業として、山梨市が桃源郷となるこの時期に「桃の花見会」を開催。今年は「ジビエ」(鹿肉)を使って焼肉料理等を楽しみました。ジビエはワインとの相性は良く、とても美味しい！「地域おこし・特産品への商品化等に繋げられないものか」市内のNPO等との連携をした「協働のまちづくり」を目指していきます。

◆牧丘病院の医療体制の充実等について

(質問) 市立牧丘病院は山梨厚生会との指定管理契約が更新されるが、(H28～H33年度)報道では本病院の統合を含め医療体制の見直しも検討されている。

これまで牧丘病院が果たしてきた役割を踏まえ、地域医療のあり方、並びに医療体制の充実に向けた考え方は。

(市) 県は、第2次医療圏ごとの地域医療構想を現在策定中でありそれらを踏まえつつ、牧丘病院は地域包括ケアシステム構築のため「在宅医療・介護の連携拠点」として病気を抱えても、住み慣れた自宅で療養、人生の最後まで続けることができるよう在宅患者や高齢者施設への往診に当たり、「高齢者も楽しく暮らせる山梨市」の推進を引き続き図っていく。

◆南反保(日下部地区・都市計画エリア33ha)開発の積極的な推進について

(質問) 都市計画エリアに指定され35年が経過し、手つかずの状況が続く。「市民からは行政の積極的取り組みを求める」声大きい。専担課の設置を含め、あらゆる角度からの検討と取り組みが必要であります。

(市) 「南反保」の開発は市の最重点課題であり積極的に取り組む決意である。(市長)

具体的には庁舎体制の確立の検討と、「まちづくりを進める組織」の継続と地元住民との相互の協力体制の確立を図る。まず本年度は住民アンケートを実施する。

★★★★★「友雅会ニュース」あとがき★★★★★



▼牧丘、三富の4小学校が対等に統合、コミュニティスクール「笛吹小」として4月6日に開校。未来に力強く育んでいくことを願う、▼ふるさと納税(約1億5千万円)に対する基金条例が制定。納税者の皆さんの目に見えるような基金の活用を求めた▼「街の駅」内に念願の喫茶コーナーを設置。運営者を募集することとなる、▼山梨市議会もようやく「議会基本条例」制定に向けた、詰めを行なっている。市民の負託に応えるためにも議会運営や広報広聴活動など開かれた議会が必要

<http://www.e-masao.net/>